待受時の動作を設定する

1 Ⓕ3 9の順に押す。

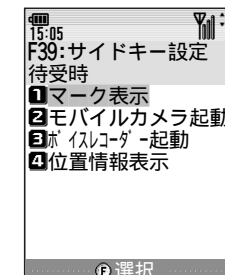
2 「❷待受時」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する動作を選び、Ⓕを押す。

●それぞれの動作は、次のとおりです。

マーク表示	未読表示やアラーム表示などの詳細マークを表示する
モバイルカメラ起動	モバイルカメラが起動する
ボイスレコーダー起動	ボイスレコーダーが起動する
位置情報表示	位置情報を表示する

●モバイルカメラ起動選択時：「❶写メールモード」～「❹アクションスナップモード」選択➡Ⓕ

15:05
F39:サイドキー設定
待受時
❶マーク表示
❷モバイルカメラ起動
❸ボイスレコーダー起動
❹位置情報表示
Ⓕ選択

電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する

電話を受けられないとき、相手の方のメッセージを録音することができます。（簡易留守録）

● 簡易留守録できる時間は、音声メモやマイボイスメモ（☞P.12-29）と合わせて最大約90秒です。

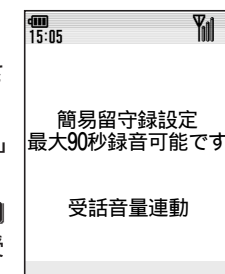
簡易留守録を設定する

簡易留守録は電源が切れていたり、オフラインモードにしているとき、「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.13-6）

1 Ⓕ文字の順に押す。

録音可能秒数と「ON」が表示されたあと簡易留守録に設定されます。（設定完了後、待受画面に戻ります。）

●応答文再生：Ⓕ➡「電話」選択➡Ⓕ➡「❼簡易留守」選択➡Ⓕ「❸応答文再生」選択➡Ⓕ

●応答文の再生音量の変更：Ⓕ➡「電話」選択➡Ⓕ➡「❼簡易留守」選択➡Ⓕ➡「❹音量設定」選択➡Ⓕ➡「❶受話音量連動」／「❷サイレント」選択➡Ⓕ

●マナーモード（☞P.2-18）設定中は、簡易留守録の設定・解除はできません。マナー設定変更で、簡易留守録の設定・解除を行ってください。

●録音可能時間が４秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定することはできません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.12-7）

簡易留守録を解除する

1 Ⓕ文字の順に押す。

簡易留守録の設定が解除され、待受画面に戻ります。

注意 ●簡易留守録音中は、簡易留守録を解除することはできません。

簡易留守録設定時

■着信があると、相手の方に応答文が流れたあと録音が始まります。
- 録音中にV401SHを閉じても、録音は止まりません。
- 録音中に電話にでる：（録音内容は残りません。）

■録音が終わると、「」が表示されます。
- 録音後、簡易留守録が設定できない状態（☞P.12-5）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「」表示が消えます。（「」は用件を聞くまで表示したままです。）

簡易留守録未設定時

■着信中に、Ⓕ文字の順に押すと、応答文が流れたあと録音が始まります。この場合、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」の設定のままです。）

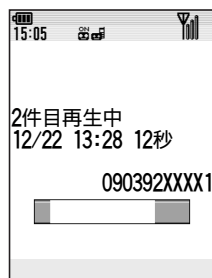
■サイドキー設定（☞P.12-4）で「簡易留守録」（着信時）に設定しているときは、着信中にサイドキーを１秒以上押すと、応答文が流れたあと、録音が始まります。

■簡易留守録が設定できない状態（☞P.12-5）のときに操作すると、「これ以上録音できません」と表示され、留守録音はしません。

録音された用件を聞く

1 Ⓕスケジュール/メモの順に押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

- メニュー操作での再生：Ⓕ➡「電話」選択➡Ⓕ➡「7簡易留守」選択➡Ⓕ➡「2録音再生」選択➡Ⓕ
- 再生途中の停止：再生中に

補足
- 時刻設定（☞P.2-4）がされていないときや、間違って設定されているときは、正しい日時が表示されません。

再生中に電話がかかってくると
- 再生は自動的に止まります。電話に出るとき、を押してください。

再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中にを押す。	再生中にを押す。	再生中にを２回押す。
３件目 ２件目 １件目 再生 再生	３件目 ２件目 １件目 再生 再生	３件目 ２件目 １件目 再生 再生

録音された用件を消去する

1 消去したい用件を再生中に、クリアを押す。

消去の確認画面が表示されます。

2 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

「１件消去しました○秒録音可能です」と表示したあと、次の用件が続けて再生されます。次の用件がないときは、待受画面に戻ります。

- 用件をすべて消去すると、「」が消えます。

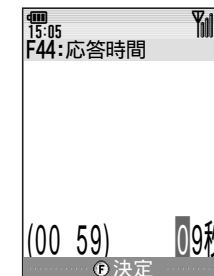
応答時間を変更する

０秒～59秒の範囲で設定できます。

- お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

1 Ⓕ4 4の順に押す。

2 呼出し時間（２ケタ：00～59）を入力し、Ⓕを押す。

- 着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：「00」入力➡Ⓕ

補足 ●簡易留守録を、オプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になる場合は、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続したとき

V401SHは、オプション品のシガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守録に設定されるようになっています。（車載簡易留守）
これを「OFF」に設定することもできます。

1 Ⓕ④②の順に押す。

2 「②OFF」を選び、Ⓕを押す。
待受画面に戻ります。

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻に毎日アラームでお知らせします。指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。（リピートアラーム）
- 最大５件まで登録できます。
- アラームの詳細（パターンや音量など）を設定したり、アラームをくり返し鳴らすこともできます。また、アラーム動作時にメッセージや電話番号を表示させたり、アラーム動作時のオプション（☞P.12-10）を設定することもできます。

1 Ⓕ⑤⓪の順に押す。

2 設定する番号を選び、Ⓕを押す。
- 新規に登録するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

3 「②時刻入力」を選び、Ⓕを押す。
- 時刻は必ず入力してください。

4 アラームの時刻（４ケタ）を入力し、Ⓕを押す。
- 時刻は24時間制で入力します。

5 「③曜日設定」を選び、Ⓕを押す。